日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で診療を受けられる患者さんへ

～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	超音波エラストグラフィによる腎周囲脂肪硬度評価が腹腔鏡下生体腎移植ドナー腎摘除術の難易度予測に与える影響に関する前向き観察研究			
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日　～（西暦）2029 年　3 月　31 日			
研究実施診療科	移植外科			
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2026 年　7 月　3 日		
	院長が研究実施を許可した日	2026 年　7 月　6 日		
対象となる方	（西暦）2026 年　6 月　1 日　～（西暦）2028 年 3 月 31 日に、当院移植外科において、腹腔鏡下ドナー腎採取術（左腎）を受けた方			
主たる研究実施機関	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 （研究代表者氏名：　長谷川雄基　　）			
共同研究機関	別紙【研究組織】参照			
当院の研究責任者	所属	移植外科	氏名	長谷川雄基
研究の意義・目的	腎臓の提供（生体腎移植ドナー）のために腹腔鏡で腎臓を摘出する手術では、腎臓の周りにある脂肪の状態が手術の難しさに大きく影響することが知られています。脂肪が硬く腎臓に癒着していると剥がしにくく、手術時間が長くなったり出血が増えたりすることがあります。 現在、術前の CT 検査を用いて脂肪の状態を評価する方法（MAP スコア）がありますが、CT は放射線を使うため繰り返し検査することが難しい面があります。 本研究では、放射線を使わない超音波検査の一種である「エラストグラフィ」を用いて腎周囲脂肪の「硬さ」を術前に測定し、手術の難しさを予測できるかを調べます。また、CT 検査による評価と組み合わせることで予測の精度がさらに上がるかも検討します。この研究が成功すれば、より安全で計画的な手術が可能となり、ドナーの皆さんの安全性向上につながることが期待されます。			
研究の方法	手術前おこなった超音波検査装置を用いた検査にて測定した左腎臓の周囲にある脂肪の硬さと、術前 CT 検査の画像を用いて腎周囲脂肪の			

	厚さと CT 値を計測し、MAP スコアを算出します。 　手術後は、手術記録から手術時間・出血量などを収集します。摘出された腎臓から腎周囲脂肪を剥がし、腎臓の重さと摘出した脂肪の重さをそれぞれ測定します。 　これらのデータをまとめて解析し、エラストグラフィの測定値と手術の難しさとの関連を調べます。
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離した状態で使用します。 ・基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙歴、飲酒歴 ・術前検査値：超音波エラストグラフィ測定値、CT 画像（MAP スコア算出用）、腎容積 ・手術記録：手術時間、出血量、気腹時間、執刀医 ・術後測定：腎臓重量、摘出腎周囲脂肪重量 ・術後経過：合併症の有無、在院日数
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 　　移植外科　　長谷川雄基 電話　052-832-1121（代表）